

市町村合併

皆さんの疑問や質問にお答えする市町村合併についてのQ&Aを連載します。
今回は、改めて市町村合併について基本的な事柄を確認します。どうして合併が必要なのか？ 選択の理由は何なのか？をお答えします。

Q…なぜ、合併なのか？



A…市町村合併は究極の行政改革と言われるように、行政の効率化や行政の質の向上、住民の利便性の向上、地域のイメージアップなどが目的として挙げられています。
でも現実には、厳しい社会経済情勢から地方税が伸び悩み、国の財政状況の悪化が進んでいます。この状況だと、市町村への地方交付税は減少し、厳しい行政運営が求められます。効率的行政運営が求められ、市町村合併が必要になります。

現在の芳賀町の状況は県内市町村の中でも、財政的にも非常に恵まれており、国から「普通交付税」の交付を受けない全国でも数少ない地方公共団体の一つとなっています。今後、国が進める「地方交付税の縮減」があっても、大きな影響を受けることはないと思われまます。
しかし、少子高齢社会は確実に進展することが見込まれ、その対応のためにも、まちづくりの方向が類似し互いの不足点を補完しあえる町との対等合併を目指して、さらに基礎体力を高めることが現時点では最良の選択とすれば、その効果を生み出せる合併を推進する必要があります。

Q…なぜ、高根沢町と合併なのか？

A…昨年5月に庁内に設置した合併問題研究会による独自の調査検討結果が報告されました。特別職や議員、一般職員の人件費など行政経費の削減と財政基盤強化の面から、地方公共団体の規模拡大が最も効果があるという、いわゆる「スケールメリット」の面で「宇都宮地区」、「芳賀地区1市5町」、「芳賀町と高根沢町」の順に合併が有効であるとの結果でした。
しかし、スケールメリットの視点は、行政側から見た行政経費の削減に主眼が置かれたため、住民の皆さんが享受する「行政サービス」という最も大切な視点からすると、再度、評価をする必要が生じました。

高根沢町との合併は、それぞれの持つ良さをさらに伸ばし、不足点を補完しあえるという相乗効果が期待できる理想的な合併と考えられます。そして何よりも、町民の皆さんの顔が見える自治体であること、そうでなければ町民の皆さんにとって身近な行政サービスは展開できないこと、財政力があり（自前の税収があり、他に頼らない）不交付団体、人口規模が約5万人、面積も140km²で、「財政」、「人口」、「面積」ともに小回りがきき、地域社会（コミュニティ）を維持発展させられる可能性の最も高い地方公共団体となることができます。

このコーナーへの質問やご意見を、25ページの封筒をご利用して投函ください。素朴な疑問なども遠慮なくお寄せください。
企画課政策推進室
☎028(677)6012

法定合併協議会設置

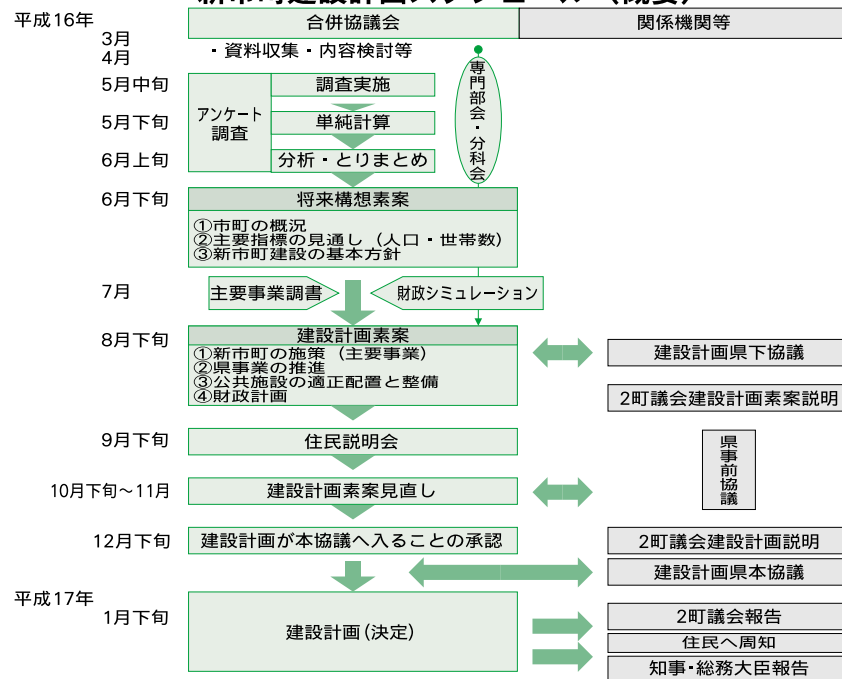


高根沢町との2町合併を検討する芳賀町・高根沢町合併協議会の設立式が、3月1日、芳賀町生涯学習センターで開かれ、2町の執行部や議会の正副議長が出席して事務局の辞令交付や事務所の看板設置を行いました。

併後の市町の運営や住民生活に影響する事項（合併協定項目）の協議や新市町建設計画（※下図参照）の作成などを行います。合併協議が順調に進めば、17年あけには合併協定書が取りまとめられることとなります。

同協議会の会長に森町長が、副会長に高根沢町の高橋町長が就任、このほか2町の議会関係者や住民代表など17人が委員に選出され、3月25日の第1回の会合を皮切りに月1回のペースで合併協議が行われる予定です。協議会では、今年1年間でごみ処理、消防などの広域行政の問題も含め、合併後の市町の運営や住民生活に影響する事項（合併協定項目）の協議や新市町建設計画（※下図参照）の作成などを行います。合併協議が順調に進めば、17年あけには合併協定書が取りまとめられることとなります。

新市町建設計画スケジュール（概要）



市町村合併に関する説明会の開催について

合併問題について、広く情報をお知らせして、皆さまのご意見をいただきたいと考えています。

各地域公民館などで説明会を実施する計画です。昼夜・休日を問わず、皆さまのご都合で開催します。ご連絡ください。



企画課政策推進室
☎028(677)6012